様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

| 学校名 | 福岡ベルエポック美容専門学校 |
|---|---|
| 設置者名 | 学校法人　滋慶学園 |

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|---|---|---|---|---|---|
| 衛生専門課程 | 美容師科 | 夜・通信 | 2010 時間 | 160 時間 | |
| | トップスタイリスト科 | 夜・通信 | 2430 時間 | 240 時間 | |
| | トータルビューティ科 | 夜・通信 | 196 単位 | 6 単位 | |
| 文化・教養専門課程 | ヘアメイク科 | 夜・通信 | 1710 時間 | 160 時間 | |
| | 国際ビューティビジネス科 | 夜・通信 | 1710 時間 | 160 時間 | |
| （備考） | | | | | |

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページに掲載　https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou

３．要件を満たすことが困難である学科

| 学科名 |
|---|
| （困難である理由） |

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※　国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

| | |
|---|---|
| 学校名 | 福岡ベルエポック美容専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人　滋慶学園 |

## １．理事（役員）名簿の公表方法

学校ホームページに掲載　https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou

## ２．学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容や期待する役割 |
|---|---|---|---|
| 非常勤 | 玉川グループ 代表 | 2019.4.1 ～ 2021.5.31 | 地域との連携 |
| 非常勤 | ㈱日本医歯薬研修協会代表取締役 | 2018.6.1 ～ 2021.5.31 | 適切な情報収集 |
| （備考） | | | |

様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|---|---|
| 学校名 | 福岡ベルエポック美容専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人　滋慶学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|---|---|
| １．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。 | |
| （授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）<br>授業計画は、業界ニーズを把握した上で、卒業後３年後の到達目標（養成目的）と卒業時における到達目標（教育目標）を設定し、カリキュラム編成を行っている。年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にし、毎年見直しを図っている。学生には授業計画を学生便覧にまとめて公表、2019年度はホームページ上でも公表する<br>また、教科課程はもちろん、シラバスには学科・コース、必修選択の別、授業形態、年次、総時間（単位)、担当教員、開講区分、曜日・時間、授業の学習内容と心構え、到達目標、使用教科書・教材・参考書、授業外における学習、授業概要・回数、評価について、特記事項を記載している。シラバスの公表時期は毎年４月に学生配布をし、2020年度からは３月中に次年度のシラバスをホームページ上に公開する予定。 | |
| 授業計画書の公表方法 | https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou<br>学校ホームページにて掲載。 |
| ２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 | |
| （授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）<br>定期試験及び臨時試験(論文・レポートを含む)、平素の学習状況、出席状況の３要素で評価する。評価はＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ・Ｆで行い、Ｄ以上を合格とする。単位・履修の認定については卒業進級判定会議を開催し、審査の上、判定をする。<br>定期試験の方法は、筆記試験、口答試験、実技試験、論文あるいはレポートで行う。 | |

| ３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 | |
|---|---|
| （客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）<br>評価は、定期試験及び臨時試験（論文・レポートを含む）、平素の学習状況、出席状況の３要素で評価します。評価は「Ａ～Ｆ」で行ない、Ｄ以上を合格とする。<br><br>評価分布の判断は「ＧＰＡ」制度を活用し、実施する。<br>点数 100～90 点＝Ａ評価（GP=4.0）<br>点数　89～80 点＝B 評価（GP=3.0）<br>点数　79～70 点＝C 評価（GP=2.0）<br>点数　69～60 点＝D 評価（GP=1.0）<br>点数　　59 点以下＝F 評価（GP=0.0）<br>※出席が 8 割（7 割）に満たない場合はＥ評価（特別補講を実施）<br><br>ＧＰＡ＝（当該科目の単位数×各授業で得たＧＰの合計）／（当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計） | |
| 客観的な指標の<br>算出方法の公表方法 | https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou<br>学校ホームページにて掲載。 |
| ４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 | |
| （卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）<br>ディプロマポリシーにある建学の理念と４つの信頼や、各学科養成目的、教育目標に基づき、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき教科目について、履修認定の要件として、美容師科においては該当教科科目の 8 割以上、トップスタイリスト科、トータルビューティ科、ヘアメイク科、国際ビューティビジネス科においては 7 割以上を出席していること、試験に合格している者に対して該当教科目の修了を認定する。<br>学校長は前項の認定を行うために、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業判定会議を開催し、審査の上判定する。この場合、所定の教科課目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業認定をする。<br>学年ごとに必修単位数を取得し、卒業時までに全科目を履修し、学校長が適当と認めた者は卒業となる。卒業年次生は卒業式の前日までに学費が完納されていない場合は、原則として卒業を認めない。 | |
| 卒業の認定に関する<br>方針の公表方法 | https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou<br>学校ホームページにて掲載。 |

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

| | |
|---|---|
| 学校名 | 福岡ベルエポック美容専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人　滋慶学園 |

## １．財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|---|---|
| 貸借対照表 | https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou |
| 収支計算書又は損益計算書 | https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou |
| 財産目録 | https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou |
| 事業報告書 | https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou |
| 監事による監査報告（書） | https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou |

## ２．教育活動に係る情報

### ①学科等の情報【美容師科】

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | | 専門士 | | 高度専門士 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 衛生 | | 衛生専門課程 | 美容師科 | | ○ | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| ２年 | 昼 | 2010 単位時間／単位 | 510 単位時間/単位 | 90 単位時間/単位 | 1410 単位時間/単位 | 0 単位時間/単位 | 0 単位時間/単位 |
| | | | 2010 単位時間／単位 | | | | |

| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 240 人 | 177 人 | 1 人 | 7 人 | 20 人 | 27 人 |

| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
|---|
| （概要）授業計画は、業界ニーズを把握した上で、卒業後 3 年後の到達目標（養成目的）と卒業時における到達目標（教育目標）を設定し、カリキュラム編成を行っている。年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にし、毎年見直しを図っている。学生には授業計画を学生便覧にまとめて公表、2019 年度はホームページ上でも公表する また、教科課程はもちろん、シラバスには学科・コース、必修選択の別、授業形態、年次、総時間（単位）、担当教員、開講区分、曜日・時間、授業の学習内容と心構え、到達目標、使用教科書・教材・参考書、授業外における学習、授業概要・回数、評価について、特記事項を記載している。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要）定期試験及び臨時試験(論文・レポートを含む)、平素の学習状況、出席状況の 3 要素で評価する。評価はＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ・Ｆで行い、Ｄ以上を合格とする。単位・履修の認定については卒業進級判定会議を開催し、審査の上、判定をする。<br>定期試験の方法は、筆記試験、口答試験、実技試験、論文あるいはレポートで行う。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要）ディプロマポリシーにある建学の理念と４つの信頼や、各学科養成目的、教育目標に基づき、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき教科目について、履修認定の要件として、美容師科においては該当教科科目の 8 割以上、トップスタイリスト科、トータルビューティ科、ヘアメイク科、国際ビューティビジネス科においては 7 割以上を出席していること、試験に合格している者に対して該当教科目の修了を認定す |

| |
|---|
| る。<br>学校長は前項の認定を行うために、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業判定会議を開催し、審査の上判定する。この場合、所定の教科課目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業認定をする。<br>学年ごとに必修単位数を取得し、卒業時までに全科目を履修し、学校長が適当と認めた者は卒業となる。卒業年次生は卒業式の前日までに学費が完納されていない場合は、原則として卒業を認めない。 |
| 学修支援等 |
| （概要）クラス担任制：有<br>個別相談・指導等の対応、長期欠席者への指導等の対応<br>保護者を含めた面談による指導 |

| 卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|---|---|---|
| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数<br>（自営業を含む。） | その他 |
| 71 人<br>（100%） | 0 人<br>（0%） | 67 人<br>（94.4%） | 4 人<br>（5.6%） |
| （主な就職、業界等）<br>美容室、ヘアメイク事務所、アイラッシュサロン、化粧品企業（美容部員） | | | |
| （就職指導内容）<br>求人案内、履歴書作成支援、就職模擬面接、学内企業説明会の実施 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等））<br>国家資格・美容師免許（受験者 70 人合格者 69 人） | | | |
| （備考）（任意記載事項）<br>平成 30 年度卒業者に関する令和元年 5 月 1 日時点の情報 | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|---|---|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 167 人 | 14 人 | 8.4% |
| （中途退学の主な理由）進路変更、目的意識の低下、人間関係 | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組）中退防止：担任・学科長・スクールカウンセラーによるカウンセリング　中退者支援：グループ姉妹校への再入学、自校内学科への転科の実施 | | |

## ① 学科等の情報【トップスタイリスト科】

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 |
|---|---|---|---|---|---|
| 衛生 | | 衛生専門課程 | トップスタイリスト科 | ○ | |
| 修業 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 | 開設している授業の種類 | | |

| 年限 | | 授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ３年 | 昼 | 2430<br>単位時間／単位 | 495<br>単位時間<br>／単位 | 105<br>単位時間<br>／単位 | 1830<br>単位時間<br>／単位 | 0<br>単位時間<br>／単位 | 0<br>単位時間<br>／単位 |
| | | | 2430 単位時間／単位 | | | | |

| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 120 人 | 41 人 | 0 人 | 3 人 | 9 人 | 12 人 |

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）授業計画は、業界ニーズを把握した上で、卒業後 3 年後の到達目標（養成目的）と卒業時における到達目標（教育目標）を設定し、カリキュラム編成を行っている。年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にし、毎年見直しを図っている。学生には授業計画を学生便覧にまとめて公表、2019 年度はホームページ上でも公表する
また、教科課程はもちろん、シラバスには学科・コース、必修選択の別、授業形態、年次、総時間（単位）、担当教員、開講区分、曜日・時間、授業の学習内容と心構え、到達目標、使用教科書・教材・参考書、授業外における学習、授業概要・回数、評価について、特記事項を記載している。

成績評価の基準・方法

（概要）定期試験及び臨時試験(論文・レポートを含む)、平素の学習状況、出席状況の 3 要素で評価する。評価はＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ・Ｆで行い、Ｄ以上を合格とする。単位・履修の認定については卒業進級判定会議を開催し、審査の上、判定をする。
定期試験の方法は、筆記試験、口答試験、実技試験、論文あるいはレポートで行う。

卒業・進級の認定基準

（概要）ディプロマポリシーにある建学の理念と４つの信頼や、各学科養成目的、教育目標に基づき、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき教科目について、履修認定の要件として、美容師科においては該当教科科目の 8 割以上、トップスタイリスト科、トータルビューティ科、ヘアメイク科、国際ビューティビジネス科においては 7 割以上を出席していること、試験に合格している者に対して該当教科目の修了を認定する。
学校長は前項の認定を行うために、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業判定会議を開催し、審査の上判定する。この場合、所定の教科課目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業認定をする。
学年ごとに必修単位数を取得し、卒業時までに全科目を履修し、学校長が適当と認めた者は卒業となる。卒業年次生は卒業式の前日までに学費が完納されていない場合は、原則として卒業を認めない。

学修支援等

（概要）クラス担任制：有
個別相談・指導等の対応、長期欠席者への指導等の対応
保護者を含めた面談による指導

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数<br>（自営業を含む。） | その他 |
|---|---|---|---|
| １６人<br>(100%) | ０人<br>（　　0%） | １６人<br>（１００%） | ０人<br>（　　0%） |

| |
|---|
| （主な就職、業界等）<br>美容室、アイラッシュサロン、ネイルサロン |
| （就職指導内容）<br>求人案内、履歴書作成支援、就職模擬面接、学内企業説明会の実施 |
| （主な学修成果（資格・検定等））<br>国家資格・美容師免許（受験者 16 人合格者 14 人）<br>※附帯教育の美容師通信課程併修により取得 |
| （備考）（任意記載事項）<br>平成 30 年度卒業者に関する令和元年 5 月 1 日時点の情報 |

| 中途退学の現状 | | |
|---|---|---|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 46　人 | 3 人 | 6.5% |
| （中途退学の主な理由）進路変更、目的意識の低下、人間関係 | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組）中退防止：担任・学科長・スクールカウンセラーによるカウンセリング　中退者支援：グループ姉妹校への再入学、自校内学科への転科の実施 | | |

① 学科等の情報【トータルビューティ科】

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | | | 専門士 | | 高度専門士 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 衛生 | | 衛生専門課程 | トータルビューティ科 | | | ○ | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 | |
| 2 年 | 昼 | 62 単位時間／単位 | 39 単位時間/単位 | 55 単位時間/単位 | 47 単位時間/単位 | 0 単位時間/単位 | 55 単位時間/単位 | |
| | | | 196 単位時間／単位 | | | | | |

| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 160 人 | 93 人 | 0 人 | 3 人 | 28 人 | 31 人 |

| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
|---|
| （概要）授業計画は、業界ニーズを把握した上で、卒業後 3 年後の到達目標（養成目的）と卒業時における到達目標（教育目標）を設定し、カリキュラム編成を行っている。年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にし、毎年見直しを図っている。学生には授業計画を学生便覧にまとめて公表、2019 年度はホームページ上でも公表するまた、教科課程はもちろん、シラバスには学科・コース、必修選択の別、授業形態、年次、総時間（単位）、担当教員、開講区分、曜日・時間、授業の学習内容と心構え、到達目標、使用教科書・教材・参考書、授業外における学習、授業概要・回数、評価について、特記事項を記載している。 |
| 成績評価の基準・方法 |

| |
|---|
| （概要）定期試験及び臨時試験（論文・レポートを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価する。評価はＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ・Ｆで行い、Ｄ以上を合格とする。単位・履修の認定については卒業進級判定会議を開催し、審査の上、判定をする。<br>定期試験の方法は、筆記試験、口答試験、実技試験、論文あるいはレポートで行う。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要）ディプロマポリシーにある建学の理念と４つの信頼や、各学科養成目的、教育目標に基づき、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき教科目について、履修認定の要件として、美容師科においては該当教科科目の 8 割以上、トップスタイリスト科、トータルビューティ科、ヘアメイク科、国際ビューティビジネス科においては7割以上を出席していること、試験に合格している者に対して該当教科目の修了を認定する。<br>学校長は前項の認定を行うために、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業判定会議を開催し、審査の上判定する。この場合、所定の教科課目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業認定をする。<br>学年ごとに必修単位数を取得し、卒業時までに全科目を履修し、学校長が適当と認めた者は卒業となる。卒業年次生は卒業式の前日までに学費が完納されていない場合は、原則として卒業を認めない。 |
| 学修支援等 |
| （概要）クラス担任制：有<br>個別相談・指導等の対応、長期欠席者への指導等の対応<br>保護者を含めた面談による指導 |

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数<br>（自営業を含む。） | その他 |
|---|---|---|---|
| 52 人<br>（100%） | 0 人<br>（0%） | 46 人<br>（88.5%） | 6 人<br>（11.5%） |

（主な就職、業界等）
化粧品企業（美容部員）、ネイルサロン、エステティックサロン、アパレル

（就職指導内容）
求人案内、履歴書作成支援、就職模擬面接、学内企業説明会の実施

（主な学修成果（資格・検定等））
JENC ネイリスト技能検定試験１級（受験者６人合格者２人）
JENC ネイリスト技能検定試験２級（受験者７人合格者６人）
JENC ネイリスト技能検定試験３級（受験者 51 人合格者 44 人）
JNA ジェルネイル技能検定試験上級（受験者６人合格者６人）
JNA ジェルネイル技能検定試験中級（受験者７人合格者７人）
AEA 上級認定エステティシャン（受験者 17 人合格者 16 人）
Ajesthe 認定上級エステティシャン（受験者 11 人合格者 11 人）

（備考）（任意記載事項）
平成 30 年度卒業者に関する令和元年５月１日時点の情報

中途退学の現状

| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
|---|---|---|
| 105 人 | 5 人 | 4.8% |
| （中途退学の主な理由）進路変更、目的意識の低下、人間関係 | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組）中退防止：担任・学科長・スクールカウンセラーによるカウンセリング　中退者支援：グループ姉妹校への再入学、自校内学科への転科の実施 | | |

①　学科等の情報【ヘアメイク科】

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 |
|---|---|---|---|---|---|
| 文化・教養 | | 文化・教養専門課程 | ヘアメイク科 | ○ | |

| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| ２年 | 昼 | 1710 単位時間／単位 | 0 単位時間/単位 | 210 単位時間/単位 | 0 単位時間/単位 | 0 単位時間/単位 | 1500 単位時間/単位 |
| | | | 1710 単位時間／単位 | | | | |

| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 80 人 | 71 人 | 0 人 | 3 人 | 12 人 | 15 人 |

| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
|---|
| （概要）授業計画は、業界ニーズを把握した上で、卒業後 3 年後の到達目標（養成目的）と卒業時における到達目標（教育目標）を設定し、カリキュラム編成を行っている。年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にし、毎年見直しを図っている。学生には授業計画を学生便覧にまとめて公表、2019 年度はホームページ上でも公表する<br>また、教科課程はもちろん、シラバスには学科・コース、必修選択の別、授業形態、年次、総時間（単位）、担当教員、開講区分、曜日・時間、授業の学習内容と心構え、到達目標、使用教科書・教材・参考書、授業外における学習、授業概要・回数、評価について、特記事項を記載している。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要）定期試験及び臨時試験(論文・レポートを含む)、平素の学習状況、出席状況の 3 要素で評価する。評価はＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ・Ｆで行い、Ｄ以上を合格とする。単位・履修の認定については卒業進級判定会議を開催し、審査の上、判定をする。<br>定期試験の方法は、筆記試験、口答試験、実技試験、論文あるいはレポートで行う。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要）ディプロマポリシーにある建学の理念と４つの信頼や、各学科養成目的、教育目標に基づき、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき教科目について、履修認定の要件として、美容師科においては該当教科科目の 8 割以上、トップスタイリスト科、トータルビューティ科、ヘアメイク科、国際ビューティビジネス科においては 7 割以上を出席していること、試験に合格している者に対して該当教科目の修了を認定する。<br>学校長は前項の認定を行うために、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業判定会議を開催し、審査の上判定する。この場合、所定の教科課目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業認定をする。<br>学年ごとに必修単位数を取得し、卒業時までに全科目を履修し、学校長が適当と認めた |

| |
|---|
| 者は卒業となる。卒業年次生は卒業式の前日までに学費が完納されていない場合は、原則として卒業を認めない。 |
| 学修支援等 |
| （概要）クラス担任制：有<br>個別相談・指導等の対応、長期欠席者への指導等の対応<br>保護者を含めた面談による指導 |

| 卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|---|---|---|
| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数<br>（自営業を含む。） | その他 |
| 23 人<br>（100％） | 1 人<br>（　　4.3％） | 21 人<br>（91.3％） | 1 人<br>（　　4.3％） |
| （主な就職、業界等）<br>結婚式場、ブライダル関連企業 | | | |
| （就職指導内容）<br>求人案内、履歴書作成支援、就職模擬面接、学内企業説明会の実施 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等））<br>３級ブライダルコーディネート技能検定：受験者数１０人、合格者数：２２人 | | | |
| （備考）2018 年度入学生よりブライダル科より学科名変更した為、卒業生及び就職者数に関してはブライダル科の実績とする | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|---|---|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 54 人 | 2 人 | 3.7％ |
| （中途退学の主な理由）進路変更、目的意識の低下、人間関係 | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組）中退防止：担任・学科長・スクールカウンセラーによるカウンセリング　中退者支援：グループ姉妹校への再入学、自校内学科への転科の実施 | | |

①　学科等の情報【国際ビューティビジネス科】

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | | 専門士 | | 高度専門士 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 文化・教養 | | 文化・教養専門課程 | 国際ビューティビジネス科 | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2 年 | 昼 | 1710<br>単位時間／単位 | 0<br>単位時間／単位 | 1710<br>単位時間／単位 | 0<br>単位時間／単位 | 0<br>単位時間／単位 | 0<br>単位時間／単位 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | 1710 単位時間／単位 |

| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 80 人 | 4 人 | 4 人 | 3 人 | 3 人 | 6 人 |

| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
|---|
| （概要）授業計画は、業界ニーズを把握した上で、卒業後 3 年後の到達目標（養成目的）と卒業時における到達目標（教育目標）を設定し、カリキュラム編成を行っている。年２回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にし、毎年見直しを図っている。学生には授業計画を学生便覧にまとめて公表、2019 年度はホームページ上でも公表する<br>また、教科課程はもちろん、シラバスには学科・コース、必修選択の別、授業形態、年次、総時間（単位）、担当教員、開講区分、曜日・時間、授業の学習内容と心構え、到達目標、使用教科書・教材・参考書、授業外における学習、授業概要・回数、評価について、特記事項を記載している。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要）定期試験及び臨時試験（論文・レポートを含む）、平素の学習状況、出席状況の 3 要素で評価する。評価はＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ・Ｆで行い、Ｄ以上を合格とする。単位・履修の認定については卒業進級判定会議を開催し、審査の上、判定をする。<br>定期試験の方法は、筆記試験、口答試験、実技試験、論文あるいはレポートで行う。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要）ディプロマポリシーにある建学の理念と４つの信頼や、各学科養成目的、教育目標に基づき、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき教科目について、履修認定の要件として、美容師科においては該当教科科目の 8 割以上、トップスタイリスト科、トータルビューティ科、ヘアメイク科、国際ビューティビジネス科においては 7 割以上を出席していること、試験に合格している者に対して該当教科目の修了を認定する。<br>学校長は前項の認定を行うために、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業判定会議を開催し、審査の上判定する。この場合、所定の教科課目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業認定をする。<br>学年ごとに必修単位数を取得し、卒業時までに全科目を履修し、学校長が適当と認めた者は卒業となる。卒業年次生は卒業式の前日までに学費が完納されていない場合は、原則として卒業を認めない。 |
| 学修支援等 |
| （概要）クラス担任制：有<br>個別相談・指導等の対応、長期欠席者への指導等の対応<br>保護者を含めた面談による指導 |

| 卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|---|---|---|
| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数<br>（自営業を含む。） | その他 |
| 人<br>（100%） | 人<br>（　　%） | 人<br>（　　%） | 人<br>（　　%） |
| （主な就職、業界等） | | | |

| （就職指導内容） |
|---|
| （主な学修成果（資格・検定等）） |
| （備考）（任意記載事項）<br>2019 年度新設の為、実績なし |

| 中途退学の現状 | | |
|---|---|---|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 人 | 人 | ％ |
| （中途退学の主な理由） | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組） | | |

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料（年間） | その他（総合演習費） | 備考（任意記載事項） |
|---|---|---|---|---|
| 美容師科 | 100,000 円 | 800,000 円 | 300,000 円 | |
| トップスタイリスト科 | 100,000 円 | 500,000 円 | 130,000 円 | |
| トータルビューティ科 | 100,000 円 | 780,000 円 | 300,000 円 | |
| ヘアメイク科 | 100,000 円 | 780,000 円 | 300,000 円 | |
| 国際ビューティビジネス科 | 100,000 円 | 550,000 円 | 150,000 円 | |
| 修学支援（任意記載事項） | | | | |
| 特待生制度、兄弟姉妹学費免除制度 | | | | |

ｂ）学校評価

| 自己評価結果の公表方法 |
|---|
| （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）<br>https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou<br>学校ホームページにて掲載。 |
| 学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） |

| |
|---|
| 自己点検・自己評価に基づき、年２回５月と１０月に学校関係者評価委員会を実施する。本委員会は学校の理念を踏まえた上で教育機関としての学校のあり方を客観的に評価し、助言を行うことで、適切な教育提供に結びつくようにする。点検評価の大項目は、教育理念・目的・育成人材像、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の募集と受け入れ、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献とし、各点検・評価項目において助言を受け、その評価結果を学校は PDCA サイクルに基づき、分析・検証を行い活用し、学校運営の改善を取り組むことを基本方針としている。委員は業界団体、企業、卒業生、高等学校、近隣代表とする。評価結果はホームページにて公表し、学校運営の改善に役立てる。 |

学校関係者評価の委員

| 所属 | 任期 | 種別 |
|---|---|---|
| 美容師科卒業生 | 2019.4.1～<br>2020.3.31 | 評価担当委員<br>卒業生代表 |
| トータルビューティ科卒業生 | 2019.4.1～<br>2020.3.31 | 評価担当委員<br>卒業生代表 |
| 美容師科保護者 | 2019.4.1～<br>2020.3.31 | 評価担当委員<br>保護者代表 |
| 福岡県立香椎高等学校　校長 | 2019.4.1～<br>2020.3.31 | 評価担当委員<br>高等学校関係者 |
| 大浜自治協議会<br>大浜祭り委員会　委員長 | 2019.4.1～<br>2020.3.31 | 評価担当委員<br>地域関係者 |
| 福岡ブレンド<br>(lott annibirth オーナー) | 2019.4.1～<br>2020.3.31 | 評価担当委員<br>業界関係者 |
| 日本化粧品検定　顧問 | 2019.4.1～<br>2020.3.31 | 評価担当委員<br>業界関係者 |

学校関係者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou

第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou